

令和4年2月号

米沢市在宅医療
介護連携支援センターたより

2022.2.22

センターからのお知らせ
今月号は、
米沢版エンディングノート
「おしょうしなノート」の配布状況
アンケートから、現状や配布後
の感想等を掲載しています。



米沢版エンディングノート

おしょうしなノート



米沢市マスコットキャラクター直江兼続かねたん&上杉景勝かづちさま
お船の方/おせんちゃん+前田慶次けーじろー©aki.okano

「おしょうしなノート」配布状況等

その人らしい生き方を実現するために、本人の
意思を尊重した、医療と介護の連携を促進す
るために・・・

- 配布数 1,742冊(令和4年1月31日現在)
- 配布先 (医療・介護関係者)
医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院、
訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、
地域包括支援センター、介護保険施設等

アンケートからの感想等 (Q1 配布の現状、Q2 配布後の感想等から抜粋)

(配布の現状)

- ・モニタリング訪問時に面談の内容に沿って渡せる方に渡している。
- ・入退院支援は、独居(身内なし)など、意思決定が大切な患者に配布。
- ・モニタリングや病院への実態調査に伺った際に、ご本人、ご家族にお会いした時。
- ・患者がこれからの生活を考え始めた時、タイミングを見計らいながら渡している。
- ・相談支援時:成年後見制度を利用する高齢者や障がい者、独り暮らし高齢者等との相談時に配布。
- ・退院支援時、在宅療養になる方、ターミナル期。(自分の思いを伝えたり、書いたりすることが前提)
- ・なかなか渡すタイミングがわからない。

(配布後の感想等)

- ・健康なうちに気持ちや書類の整理、終活をするのに良いと。死を目の前にしたら、向き合えないかも。
- ・自分の身近整理に関する項目や今後の治療に関する希望など、見える形で把握できるところが良い点だと思う。
- ・高齢の夫婦からは、息子さんと将来について話すきっかけになったとの話がありました。
- ・その時々で気持ちの変化に応じて、書き加えられる構成になっていて使いやすい。
- ・なじみのあることば(おしょうしな)で写真やイラストがカラーなので手にとりやすい。
- ・金銭面での見通しが立ち、マネジメントがしやすかった。
- ・これから準備すること、やらなければいけないことが、明確になっていると安心する。
- ・ACPについての理解にもつながるので、普及活動を続けてほしい。
- ・夫婦でもよく話し合っていないので、十分には書けなかった。

「おしょうしなノート」
アンケート
Q1 配布現状
Q2 配布後の感想
医療・介護の関係
者より

多くの感想等をありがとうございました。

※ 来月号は、皆様から寄せられた活用法・周知方法を掲載していきます。

